

彩の国ロードサポート NEWS



彩の国ロードサポートについての情報は、県道路環境課ホームページをご覧ください。

道路環境課ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/A08/BF00/index.htm>

編集・発行：埼玉県県土整備部道路環境課 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号

TEL 048-830-5103(直通) FAX 048-830-1942

～ 目 次 ～

- 1. 「第三回道路愛護の集い」を開催しました P 1
- 2. 彩の国ロードサポート団体の活動報告 P 1
 - 大谷沢クリーンクラブ P 1
 - 四季の会 P 2
 - 庄和手をつなぐ育成会 P 3
 - 所沢市東住吉町会花の会 P 3
 - ミセス・レインボー P 4

ロードサポートの認定状況

平成18年3月1日現在で

236団体

約13,900人

1. 「第三回道路愛護の集い」を開催しました

2月11日(土・祝)に、埼玉会館で埼玉県・埼玉県道路協会・さいたま市の主催による「第三回道路愛護の集い」が開催されました。

当日は約250名の方に参加をいただき、道路愛護ポスターコンクールの表彰式や有識者を招いての講演などが行われ、その中で彩の国ロードサポート団体の活動報告も行われました。

そこで、今回の彩の国ロードサポートNEWSでは、当日、各団体が発表いただいた内容をご紹介いたします。それぞれが貴重なお話ですので、皆様の今後の活動の参考になると思います。

なお、来年も同様の催しを行いたいと考えております。詳細が決まりましたらご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

2. 彩の国ロードサポート団体の活動報告

大谷沢クリーンクラブ(日高市)

活動人数：23名
活動路線：一般国道407号
発表者：関谷 邦男さん

日高市から参りました関谷と申します。私どもの大谷沢クリーンクラブの活動につきましてご報告申し上げます。

私どもは、昨年の10月1日に設立をいたしました組織で、恐らく本日参加しておりますサポートの団体の方から比べれば、非常に活動実績が少ないところだと思えます。

会員数は23名で、平均年齢は60.4歳、第一線を退いた方それから自営等の方、半々程度でございます。

活動は大谷沢地域内で、月500円の会費をもって運営をしております。

きっかけにつきましては、一昨年に、埼玉国体が開催されたわけですが、そのときに日高市は弓道の会場となり、選手、監督等の民泊を行いまして、そのとき民泊協力が設立されました。主にその会員の方がもとになって設置した会でございます。

民泊協力が活動後1年たちまして、何か活動したいと思っていた矢先に、日高市で違反広告物除去推進員制度というのができました。これは10月1日施行でございましたが、早速それに応募しようということで応募いたしまして、日高市の第1号の認定を受けたところでございます。その後、市の方から彩の国ロードサポートというものがありますよということで勧誘を受けまして、そこに入ったわけでございます。認定されましたのが昨年の12月15日ということで、新しい団体でございます。

活動する地域は、主に大谷沢地区を通っております国道407号でございます。非常に交通量が多いわけございまして、昔の日光裏街道と言われている道で、車を運転している方は一度は聞いたことがあるかと思えますが、埼玉県内の交通情報で、「407号日高地内高萩交差点を先頭に、上りが旭ヶ丘地区内、下りが大谷沢地区内の1.5km渋滞」なんてよく出ております。





そういう関係から、車が多く、また渋滞地区でございますので、非常に両わきにゴミが多いところで

す。それから、先ほども申し上げました違反広告でございますが、これは主に風俗関係のもので、電話番号だけ書いてある看板でございます。407号の道は小・中学校の通学道路にもなっており、非常に青少年にも悪い影響があることから、それらを撤去するのも私ども推進員の仕事でございます。

実際の活動につきましては、ただいま申し上げました道路の両わきに捨てられたペットボトル、空き缶、それから最近では多くなったコンビニで買った弁当の食べかすといいますが、それらのゴミの収集で、活動は月1回、毎月第3土曜日に朝の8時から2～3時間行っております。

先ほどもお話ししたように、設立が10月1日なものですから、活動はいままでに4回行っております。2月はこれから行うわけでございます。第1回目、2回目につきましては非常にゴミが多かったです。会員の持ち寄りの軽トラックで4台分ぐらいの量が出ておりました。それから、不法投棄された壊れたラジオで

ありますとか、自転車などがありました。3回目以降はかなり浸透されたんでしょうか、ゴミの方は少なくなりました。しかし、相変わらず違反広告物はかなりまだ貼ってあります。取った翌日に貼られてしまうなんていう、非常に悔しい思いをしております。

特に違反広告物は、信号機の柱でありますとか、ひどいときには交通標識等に針金等でくりつけてあり非常に危険です。それから、雨が降ると、下の方にその看板等が落ち、道路がなかなかきれいにならないという実情もございまして、根気よくやろうかなと思っております。

私どもの活動における周囲の反響でございますが、ロードサポートの認定を受けたおかげで、全員の帽子等がそろいました。かなり目立つ色でございまして、活動が近辺に話題になっております。地域の人々からは好意的に受けとめられているのかなという感じがいたしております。

今後の目標でございますが、この機会に今問題になっております子供の安全、それから老人の交通事故等々がないように、子供会あるいは老人会等と協力しながら貢献できたらと思っております。

また、会員の連携強化のために多くの先輩の団体が発行しておりますような会報の発行や先進団体の活動状況の視察等を行い、それらを通じまして、より一層の地域貢献ができればと考えております。

四季の会(新座市)

活動人数：30名

活動路線：県道さいたま東村山線
一般国道254号

発表者：荻原 洋志さん
吉井 隆一さん



新座市環境ボランティアグループ四季の会の私、荻原と吉井でございます。

当会のメンバーは、40代から70代、昔のヤングの集まりです。これは私ども2003年に新座市の市民大学で環境オブザーバー学科というのがありまして、そこで出会った仲間と市内で環境保全活動に強い熱意を持たれている方が集まり、2004年3月に30名の会員でこの会を立ち上げました。

私たち四季の会のメンバーが彩の国ロードサポートに取り組むきっかけになったのは、昨年、新座市の「雑木林とせせらぎのある観光都市にいざ」の発信を受けまして、新座市にある武蔵野の面影を今に残す雑木林、歴史的価値の高い平林寺や野火止用水を我々がどうしたら保全していけるのかをいろいろ考えました。その中で、大きなことはできないけれども、まずできることから始めようということで、野火止緑道の700m、ここの清掃をいざまち並み美化パートナーとして取り組むことにしました。

清掃をしておりますと、野火止公園というのがあるんですが、そこは昼間でも余り人の立ち入らないよう

なところなものですから、これは新座市のみどり公園課さんをお願いしまして、低木・生け垣刈り込みサポーターをさせていただきました。毎月定期的に行っておりますと、観光都市ということであると、新座の駅が玄関口になるだろうと。玄関口から少しずつでもきれいにしたいですねという話がメンバーの中から出まして、県道のさいたま東村山線の350mを朝霞県土さんにお伺いしまして、ぜひロードサポートをさせていただきたいというお話をし、了解をいただきました。ただ、そこをやっておりますと、近くに254号(川越街道)が走っておりまして、最近新座市も非常に大型店舗等の進出がありまして、土曜、日曜はかなりの渋滞になるんですね。渋滞になっている間に、歩道とかそれから生け垣にかなり空き缶とかペットボトル、ポイ捨てが目立ちまして、これは半端な数じゃなかったんですね。それで、これも何とか一緒にやらせていただこうということで、あわせて740m、都合約1.5kmぐらいのところを楽しみながらやらせていただいております。

さいたま東村山線では、道の反対側は区画整理が済んで、かなり広い歩道になりまして、ゴミが余り落ちていないのですが、こちら側は非常にゴミが多いので、

それから、これは先ほど出ました違反簡易広告物除却。我々もこれは一緒に清掃時に取っております。なかにはお子さんに見せられない立て看板とかありますので、我々の会員が苦勞して取り外しをしたりしておりますが、これ



は資格がない人が取ると違反になるということで、ぜひ皆さんもお気をつけいただければと思います。

今年の1月8日には、先ほど昔のヤングと言ったんですが、そこに本当にまじめなヤング、当会相談役で麻布大学の環境政策学科の村山先生と学生さんにもまじっていただきました。ことし初めての掃除ということで、飛び入り参加していただきまして、和気あいあいとゴミ片づけをすることになりました。

活動は昨年7月から毎月1回ずつさせていただいております。10月は非常に残念ながら雨で中止になって

しまいました。2月は、私どもの例会が明日(2/12)になりますので、明日行うこととなっています。

1月8日のときの収穫は、瓶で1袋、缶1袋、ペットボトル1袋、不燃物1袋に可燃物3袋になりました。これを会員の車に載せまして市役所の方に持ち帰りました。

今後の活動として、我々は彩の国ロードサポートを子供会や町内会にも積極的に提案し、地域ぐるみ、町ぐるみで展開していこうと思います。

ご静聴ありがとうございました。

庄和手をつなぐ育成会(春日部市)

活動人数：24名

活動路線：県道西金野井春日部線

発表者：大木 藤江さん



春日部から参りました大木藤江でございます。

私は、埼玉県手をつなぐ育成会(全日本手をつなぐ育成会の傘下)という会がございまして、その

庄和の会長をしております。障害者とその家族を守り、育成をして、障害者と一緒に活動している会です。

1975年に県道の近くの現在地に転入し、31年住んでいます。当時県道の2カ所と住宅地の中の空き地にゴミの山があり、朝8時から夕方6時まで3日間整理しました。また、16号わきの空き地に捨てられた空き缶の山も3日間で清掃。いま店ができていますが、無駄な労力を費やしたのかなあと感じました。私が片づけなくても地主さんが整理してくれたと思います。しかし当時は50代でしたから町を美しくすることしか考えていませんでした。一人でよくがんばったと感心しています。84歳になった現在も、これからも健康維持のために県道や地域を美しく清潔にし、安心して生活できる場所にしたい。

県道は南桜井小学校、葛飾中学校、庄和高校の通学路になっています。今でも小石が落ちているので、石の始末はします。浦和に住んでいた友人が歩道で信号待ちをしていた時に、自動車がはねた石が額に当たり即死されたことを今でも残念に思います。どんな小石

でも恐ろしいので拾います。

県道のサポートの募集に希望者がありませんでしたので、一人でもできますが、団体ということなので、育成会では月に一度体育館の芝生広場でグラウンドゴルフをした後に、使用した場所と体育館周辺、町道と役場前の県道の一部を清掃していましたので、西金野井春日部線は、私会長が責任を持って清掃することにいたしました。30年来おこなってきたことですが、住民として生活道路である以上当然のことです。

参加してよかった、活動してよかったと思うことは、道路が美しくなり危険が少なくなり、嬉しいことは歩道の2ヶ所のU字溝にゴミが捨てられなくなったこと。もっと大事なことは自分の運動になり、健康のためにも役だったことです。

活動の苦勞としては、山を切り拓いた県道です。竹の葉、木の葉や土が道路に落ちてくること。両側の斜面に空き瓶、缶、ペットボトル、不要品等が捨てられ、通学路として利用する子供が落ちている瓶を投げて、小さく割れたかけらを処理するのに大変苦勞しています。悪天候の時は中止しますが、ほとんど毎日、登校前と下校時の1時間以上、1年間300日活動しています。

今後の目標は、通学路に利用しているので土、日の1日か、月に一度くらい小学生の親子で清掃するようになればと思います。もちろん私も参加します。

花植えは多年生の水仙、ラベンダー、あじさい、つつじ等を植えています。水は役場の外水道から石油タンクで運びます。つかみ棒は今日は持ってきませんでしたが、タバコの5、6本が一度につかめて大変便利な物を貸与していただき感謝していますが、消耗品ですから、次回またよろしくお願いします。今後も継続して活動いたしますので、よろしくご指導くださいませう、また他地区の方々とのコミュニケーションが図れましたら幸いに存じます。

所沢市東住吉町会花の会(所沢市)

活動人数：13名

活動路線：県道久米所沢線

発表者：鈴木 由紀子さん

皆さん、所沢をご存じですか。所沢は、私たちが活動している花壇から自転車で10分で東京です。33万8,000という人口で、埼玉県の中核市でもあります。

まず、きっかけでございますが、町内会の中央に工

場が位置し、町内が西、南、北と分断されております。年に数回の町内会活動では、親睦もとれません。

所沢駅から、1分という市街地であるために、新住民の方が多く、旧住民と新住民とのコミュニケーションをとるためには、町内会の活発な動きと、説得で、町内会に加入していただき、ともに活動をと願って、ロードサポートを取り入れました。

また、永年町内の環境委員の方がこの場所を掃除し、住民のモラル低下を悩んでいたのもきっかけの一つで



す。
花壇10個、街路樹の下のミニ花壇10個、約200mが活動場所です。

花壇が長いので、継続する花壇の中に散水ホースを設置

し、作業の負担を軽くし、長期間の活動を維持することを考え実行しています（全住民参加）。

花の植替えは、年4回で、住民には回覧板で参加を呼びかけ、地元小・中学校へは生徒へのボランティアを呼びかけ、PTA・地元企業も一体となった花壇作りです。

町内の新一年生には、コニファーの木に自分の名前や愛称など、一目でわかる名札をつけています。

花も、車道側には、運転注意のオレンジ色とか、歩行者側には、心を癒す花の色とか、種類を考えてガーデニングしております。

こうした動きがきっかけとなり、PTA行事への協力、父兄、子供達の参加で登下校時の声かけが、スム

ースになっています。

所沢市より、違反簡易広告物除去推進委員の認定を受け、所沢市をよごさない、よごされないを実行しております。

今後の課題は、行政と県民市民が一体となった花壇作りですので、納税者として税の無駄遣いをしないためにも、維持管理することの大切さを理解し、続けていくことの企画づくりをしっかりとすること。

県知事は、昨年の彩の国のコラムの中で「今、埼玉は花なんです」と述べておりますが、花や緑の活動を実施することを、協力者に理解してもらうことを努めるとともに、緑を守り育てる、緑の環境税制のあり方を学んでいきたいと考えております。

私たちの活動で、市への行政協力者が一人でも多くと心から願っております。

「道は私たちが大切に愛していく」

これが街づくりの第一歩と勉強させていただきました。



ミセス・レインボー(熊谷市)

活動人数：14名
活動路線：一般国道407号
発表者：原口 征子さん



熊谷市から参りましたミセス・レインボーの原口です。

活動のきっかけとしたしまして、国道407号に、備前渠がございます。花いっぱい運動

の一環とし、桜の木が植えられ、またその近くには春は菜の花、大根の花等が咲き、心とむところがございます。そもそも桜の花が咲いた後に草取りを始め、私たちのボランティアをするきっかけとなりました。最初は二、三人で始めましたが、草取りの奉仕として草花の植えつけ、種まき等のボランティアも今では14名となり、たくさんふえました。

それから、よかったことを述べさせていただきます。桜の木の下をはじめ、国道407号の道路側をきれいにしたところへ、春にはポピー、夏から秋にかけてコスモスと、半年くらいは花の時期が続きます。ジョギングで利用する人や近くにお住まいのお年寄りの方々はこのコースを選んで散歩をされると聞き、「きれいですね」、「いつもご苦労さまですね」と言われると、やはりやってきてよかったなと思うときです。そして、

活動を重ねることにより、大勢の人の心が触れ合い、またグループのきずながますます深まったことです。さらに、足腰を使うことにより、自分たちの運動不足も幾分解消できるのではないかなと、こう思っております。

1年を通して管理をしておりますので、特に夏の暑い時期の草取りは大変です。こんなときはお互い相談し合い、都合に合わせて朝の涼しいうちを利用してやっております。

私たちがボランティアをする前までは、雑草は歩道まで伸びていたため、ここは中学生の通学路にもなっていますので、自転車で通るのも危険だったそうです。でも、今ではスムーズに通ることができるようになりましたので、喜んでいただいております。ゴミの投げ捨ても少なくなりました。でも、まだまだ心ない人がいて、飲料缶やたばこの吸い殻を捨てていく人がいるのですね。悲しくなってしまう。



今後も私たちが元気な限りは、花いっぱいの美しい道路を守っていくことが目標となっています。ポピーの種が6月、コスモスの種が10月、いずれも自分たちで咲き終わった花から種をとったものを翌年に使用しております。また、地域の花いっぱい運動にも届けております。

県からロードサポート団体の皆様へのご願い

車道での作業や機械を用いた作業、高所での作業など、危険を伴う作業は控えていただくようお願いいたします。

新たに花植えなどを行う場合は、事前に各県土整備事務所にご相談ください。

その他、活動に際してご不明な点がございましたら、お気軽に各県土整備事務所へお問い合わせください。